

基本構想の「原案」と「素案」の比較

基本理念

原 案	素案に対する市の受け止めと反映の考え方	素 案
人とひと、人と自然が響き合い、 みんなで幸せを紡ぐまち八王子	素案の基本理念を尊重し同文としています。	人とひと、人と自然が響き合い、 みんなで幸せを紡ぐまち八王子

私たちが目指すまち

現行のゆめおりプランの「都市像」という表現を、素案では、多くの市民にとってわかりやすい「私たちが目指すまち」という言葉で表現しています。その趣旨を尊重しました。

原 案	素案に対する市の受け止めと反映の考え方	素 案
<p>1編</p> <p>みんなで担う公共と協働のまち (分野：コミュニティ、協働、分権、行財政運営)</p>	<p>【私たちが目指すまちの名称】 素案の名称を尊重し同文としています。</p> <p>【分野】 「コミュニティ」を加えた理由 1編では、他の5つの「私たちがめざすまち」(2編～6編)を実現していくための基本となる考えを示しています。</p> <p>分野については、素案P3の計画全体に通じる「基本理念の検討にあたり重視したこと」では、だれもが幸せを感じるまちを実現していくために、(ア)家族や地域が支え合い信頼の絆で結ばれること、(イ)こうした社会を実現するためには、行政だけに依存するのではなく、私たち市民も当事者として協働の場に参加することが望まれると提案されています。</p> <p>また、コミュニティを検討分野として担っていただいた「生活・共助分科会」だけでなく、その他の分科会においても、「地域における人と人のつながり」を共通の課題として挙げています。例えば、「教育・学習分科会」では、地域と学校の間により、子どもたちの社会性を育む必要性や、保護者が安心して子育てができるよう、家族、学校、地域など多方面から支えあう必要性を提起しています。また、「まちづくり分科会」では、地域の多様性を活かしたまちづくりのために、近所づきあいや町会・自治会活動による地域住民同士が交流を挙げています。また、「産業分科会」では、中心市街地の活性化のために、市民、学生、商店街の様々な担い手が関わり皆で市街各所で賑わいを創出していくことや、恵まれた歴史的・文化的資源を活かして、全市民が「おもてなしの心」をもって皆で観光客を歓迎する機運の醸成を提案しています。また、「環境分科会」では、冒頭のあるべき姿で、多くの市民が自然とふれあい、まちの環境保全活動に参加していることや、自然のふれあいから、人とのつながりが深まり、豊かな心が生まれ、日々の生活に新たな幸せをもたらしていますと提案しています。</p> <p>また、市民参加推進審議会や、平成22年の行財政改革推進審議会の答申などでは、広く多くの市民が日常において、共助・自助を育むことが必要であることを提起しています。また、都市政策研究所(市の研究機関)では、日常生活において「人と人のつながり」により多くの市民が自発的に社会に関わりあうことが、生きがいを生み、人は尊厳や幸せを得られるとの研究結果を報告しています。</p> <p>これらを踏まえて、人と人のつながりを育む「コミュニティ」を1編に位置づけました。なお、市民会議では、現行の「ゆめおりプラン」の各編の分野をベースに分科会に分かれ検討していただいたため、「コミュニティ」については「生活・共助分科会」(主に2編該当)で中心に検討していますが、「生活・共助分科会」で提案していただいた内容は1編の中で反映しています。</p>	<p>みんなで担う公共と協働のまち (分野：協働、分権、行財政改革)</p>
<p>2編</p> <p>健康で笑顔あふれる、ふれあい・支えあいのまち (分野：市民生活、福祉、健康、保健医療)</p>	<p>【私たちが目指すまちの名称】 素案の名称を尊重し同文としました。ただし、素案の「ふれ”愛”・支え”愛”」の”愛”については、計画全体表記のバランスからひらがなとしています。</p> <p>【分野】 「コミュニティ」を1編に移行した理由は上記のとおりです。 「子育て」を3編に移行した理由 現行のゆめおりプランでは、子育て施策は主に福祉施策を位置づけている2編に、学校教育を3編に位置づけています。しかし、市民会議の「生活・共助分科会」(主に2編該当)、「教育・学習分科会」(主に3編該当)の両分科会の素案の提案ともに、乳幼児期から児童青少年期までのこども施策を一体として取り組むことの有効性が記載されています。そのため、素案の考え方を尊重し「子育て」を3編に移行しました。 「市民生活」、「保健医療」 素案の具体的施策の内容を踏まえ、より多くの市民の方に分かりやすい分野区分としています。</p>	<p>健康で笑顔あふれる、ふれ愛・支え愛のまち (分野：コミュニティ、子育て、福祉、健康)</p>

原 案	素案に対する市の受け止めと反映の考え方	素 案
<p>3 編</p> <p>生き活きとこどもが育ち、学びが豊かな心と文化を育むまち (子育て、学校教育、生涯学習・スポーツ、文化)</p>	<p>【私たちが目指すまちの名称】 上記のとおり、素案の提案内容を尊重し、「子育て」を2編から3編に移行しました。そのため、3編は「こども施策」を一体とした内容に合わせて名称を変更しています。</p> <p>【分野】 「子育て」を3編に移行した理由は上記のとおりです。</p>	<p>学び合い、豊かな心と文化を創るまち (学校教育、生涯学習・スポーツ、文化)</p>
<p>4 編</p> <p>安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち (都市づくり、防災、<u>防犯</u>、<u>交通</u>)</p>	<p>【私たちが目指すまちの名称】 素案の名称を尊重し同文としています。</p> <p>【分野】 「防犯」 現行の「ゆめおりプラン」では、「防犯」を2編 施策11「地域での支え合い」(地域コミュニティ施策)に位置づけています。今回、新プランでは、地域コミュニティの活性化については全体の基本となる考えとし1編で位置づけました。その際、「防犯」については、全体的な考え方というより具体的活動であること、また、素案においては、「まちづくり分科会」(主に4編該当)が「防犯」について提案していることを踏まえて4編に位置づけました。</p> <p>市民の安全が守られ、安心、快適に日常生活を送るためには、「防犯」は「防災」と並んで大切な分野であると考え分野標記しました。</p> <p>「交通」 素案の具体的施策の内容を踏まえ、より多くの市民の方に分かりやすい分野区分としています。</p>	<p>安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち (都市づくり、防災)</p>
<p>5 編</p> <p>魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち (産業、労働)</p>	<p>【私たちが目指すまちの名称】 素案の名称を尊重し同文としています。</p> <p>【分野】 「雇用」 「産業分科会」では、雇用施策に焦点を当てた施策提言は特段ありませんでした。しかし、行政として雇用環境の改善は市民が安心して生活していくために重要な分野であると判断し「雇用」を分野表記しています。</p>	<p>魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち (産業)</p>
<p>6 編</p> <p>一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち (環境、自然)</p>	<p>【私たちが目指すまちの名称】 素案の名称を尊重し同文としています。</p> <p>【分野】 素案と同様としています。</p>	<p>一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち (環境、自然)</p>